

研究課題名	自己組織化ペプチド溶液を用いた内視鏡治療の有用性の検討
研究の意義・目的	本研究は、出血や腫瘍（できもの）の切除、黄疸（体が黄色くなる状態）などの状態を改善するために、当院での自己組織化ペプチド溶液を用いた内視鏡（胃カメラ）治療を受けた患者さんを対象とし、その成績を収集することを目的としています。治療成績の結果より自己組織化ペプチド溶液の効果が検証できれば、今後の内視鏡（胃カメラ）治療において有効な治療法の一つとなります。現在報告されている治療効果を調べた文献の症例数も多くなく、さらなる data の集積が必要です。本研究は、当院での治療成績を収集し報告することで、今までに医学論文として報告されたものとあわせより信頼性の高い結果へとつながる可能性があります。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ～ 2025年10月31日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2023年7月～2023年9月の間に大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科で、自己組織化ペプチド溶液を併用した内視鏡治療を受けた患者が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ① 診療情報：【年齢、性別、診断名、現病歴、既往歴、家族歴、自覚症状】 ② 血液検査結果：【白血球数（分類）、赤血球数、血小板数、総ビリルビン、AST、ALT、 $\gamma$ GTP、BUN、血清クレアチニン、PT】 ③ 内視鏡治療：【実施日、治療内容、自己組織化ペプチド溶液（使用量）、治療経過】
試料・情報を利用す る者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院 消化器内科のみで行います。
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 丸山 紘嗣 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス：hiromaruyama99@omu.ac.jp